

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 クールの入れ替えの際に、一時的に来所人数が多くなるため、待機場所を用意安全面に配慮している。	
	2 職員の配置数は適切である	児童発達支援管理者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	荷物の置き場や開けてはいないドア、道具の使い方などのルールが分かりやすいように、ポスターや手順表を用意している。 当事業所はトイレが大人用のため、職員が介助をするなど安全面に配慮を行っている。また、更衣室も狭いためこちらも職員が介助し安全面に配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日掃除と消毒を行い、清潔な環境作りを徹底している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、毎日朝礼と終礼を行い、児童の状況を共有し、療育の質の向上に努めている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを1月に実施。また日々の保護者へのフィードバックの際に、保護者から頂いた意見を職員全員で共有し、特に改善が必要なものについては話し合いを行い対応をしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	会社のHPIにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修は設けているが、内容に関しては改善すべき点もあるため、検討を重ねている。 また、外部研修に参加し、自己研鑽の時間を設けるなどしている。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員全員で、日々の子どもの状況や保護者からの要望等を確認し、個別支援計画の作成を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者との関わりなどを目的とした個別療育、集団療育を設定している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	児童の支援計画を毎日職員全員で確認し、それに基づいたプログラムを作成し、支援している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	活動プログラムは複数の指導員が担当している。ミーティング時に子ども直近の様子を指導員全員で話し合いながら、個別支援計画に基づき、プログラムを作成している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者の課題や希望に沿った内容を考え、提供している。毎回、反省を重ねより課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考えている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	契約時に個別活動と集団活動のどちらが適正かを検討しクラス編成を行っている。また、成長度合いや個々の目標に沿って、クラス変更を児発管、指導員、保護者そして児童にヒヤリングすることもある。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	毎日の朝礼で職員で打ち合わせを行い、共通理解を深め、支援方法や役割分担の確認をしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	毎日の終礼で職員で打ち合わせを行い、支援内容の反省や子どもの今後の課題を話し合い共通理解を深めて、次回の支援に繋げられるようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日、児童ごとに一言情報に記録するほか、児童一人一人について、職員全員で状況の確認、課題の確認を話し合い、意見交換を行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	半年以内にモニタリングを行い、児発管、指導員、保護者と話し合いを行い、計画の見直しを行っている。自分の要望を伝えられる児童には、児童自身に話しを聞くこともある。	
関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		担当者会議はまだ行われていないため今後必要に応じて検討していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		今後必要に応じて検討していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		現在該当児童はいないが、今後受入れる場合は主治医との連絡体制は整えていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		現在該当児童はいないが、今後受入れる場合は主治医との連絡体制は整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	状況により対応をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者からの要望により対応している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	セミナーなどに参加し、情報収集を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	そういった機会は設けていないが、当事業所の活動についての紹介をさせてもらっている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		今後協議会の内容や勤務体制により、参加を検討している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回支援終了後に保護者に児童の活動についてのフィードバックを行うとともに、家庭での様子や学校の様子などを伺い、児童の様子や課題などの確認し合っている。また、常時保護者や児童からの意見や要望に応じれる体制を整えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	フィードバックの際に相談に応じてアドバイスをを行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	主に契約時に運営規定や利用者負担額について説明を一通り行っている。支援の内容については契約時の時だけでなく、様々な場面で詳しく説明をしている。また、質問があればすぐに返答できるようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児発管が支援計画を作成、面談時に支援計画について説明をし、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回のフィードバックの際に保護者の思いを聴くことを大切にしており、アドバイスを伝えるようにしている。一人で判断しかねる場合は、職員全員で話し合いを行い、保護者に返答できるようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会はないが、希望者には個別で情報交換などの連携の案内を行っている。今後開催の声が高まれば、必要に応じて検討していく。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	子どもや保護者からの相談があれば、対面もしくは電話などすぐに話しを聞ける体制を整えている。もし、同日中での対応が難しければ、日程の調整をその場で行い、日を大きく空けることなく相談を受け入れられるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	ポスターや手紙などで行事等の情報を発信している。会報はないため、今後必要に応じて検討していく。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	個々の特性や障害に合った配慮を行っている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		今後必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	保護者には契約時に説明をするようにしている。 また、職員は定期的にマニュアルの確認を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年に2回、実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約面談の際に確認を行い、職員全員が情報共有している。服薬の変更や発作の頻度などがあれば、その都度、保護者からの情報提供していただいている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約時に食物アレルギーについて、詳しく保護者に聞き取りを行い、職員全員が確認している。 またイベントなどでお菓子など配る際には保護者への周知並びに説明を徹底している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	記録を残し、職員がいつでも確認できるように専用のファイルにて管理している。また、ヒヤリハット事例があった際には職員全員で話し合い、繰り返さないために対策を話し合っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	年2回、虐待防止の研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	マニュアルを作成し、方法も組織的に決定している。 保護者には契約時に書面にて説明を行い、了承を得ている。また個別支援計画書にも記載している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	2	0	0	丁度いい大きさだと思います。	今後も子ども達が安全に楽しく運動が出来るように、対応してまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	1	0	0	・先生が手厚く、指示や指導、方向性が的確でわかりやすい ・子どものフォローを必ずして頂けていて、手厚いご支援に感謝しております。	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、皆様に安心して楽しく通所していただけるように、職員全員でプログラムの作成、環境設定、声掛けなどの向上を目指してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	1	0	0	・限られたスペースではあるが、よく工夫されていると感じます。 ・床の印や輪っかで座る位置を可視化して頂き、子どもが迷わず指示に応じる事が出来ていると思います。	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、安全面を考慮しながら、お子様にとって楽しく運動できる教室であるように、日々の支援に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	0	0	0	・外観は古いですが、中はとてもきれいです。 ・とても清潔です。	引き続き、清掃と消毒の徹底を行い、気持ち良く過ごせる教室環境を整えてまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	32	0	0	0	しっかりヒヤリングして頂きました。支援計画も納得感があります。	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様や保護者様のニーズや課題を共有させていただきながら、職員全員で支援計画を作成してまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	0	0	2	設定されています。	発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者との関わりなどを目的とした個別療育、集団療育を設定しております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	0	0	0	過干渉すぎない。丁度いいフォローでご支援頂いています。	引き続き、お子様の状況を鑑み、支援計画の作成とそれに沿った支援を行ってまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	1	0	2	・週2回通っていますが、毎回違った活動プログラムを提供して下さっています。 ・新しい活動をたくさんして頂いており、初めてが苦手な子どもにも良い練習になっています。	保護者の皆様からのいただきましたご要望も含め、お子様方が成功体験をたくさん積み重ねて、自信を持って運動に取り組んでいけるよう、職員全員でプログラムの作成に取り組んでまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	5	8	12	・TAKUMIでの個人差のある子どもたちとの関わりのため「いいえ」にした。 ・平日は保育園に通っているため、交流の機会があります。	現在、交流の機会を設けてはおりませんが、必要に応じて検討させていただきます。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1	0	1	契約時にしっかりご説明頂きました。	運営規定や利用者負担額については契約の際に一通り説明させていただいております。また、質問があればすぐに返答できるように体制を整えております。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	31	0	0	1	活動内容と支援の目的、その結果を毎回しっかり説明頂いています。	児童発達支援計画は児発管が作成し、保護者様との面談時に支援計画についてご説明させていただいております。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14	3	4	11	<ul style="list-style-type: none"> ・見学は出来るので内容は理解しているが、家族支援プログラムの有無は知らない。聞いて頂いていると思う。 ・来所して対面でのペアレントトレーニングは教室も保護者も大変だなと思うのでZOOMやYOUTUBE動画配信などオンラインで実施されると良いと思う ・お世話になり始めてから間もないため、把握できておりません。 	ペアレントトレーニングとしては行ってありませんが、フィードバックの際に保護者様からのご意見やご質問に対し、アドバイスという形でお話をさせていただいております。今後更にその点を強化してまいります。また、オンラインでのペアレントトレーニング実施に関しても、現段階では予定していません。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	32	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・教室後に短時間でも状況がよく分かるように伝えて頂いており、こちらからの質問にもご自身の言葉で答えて頂いています。子どものもとをよく見ていただけると感じ、ありがたいです。 ・こちらの心配事も聞いて、どんな活動で練習できるかお話頂いています。 	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、保護者の皆様とお子様の様子や課題に関しての情報共有はもちろんなこと、お子様が達成できたことの喜びを共有させていただきながら、継続した支援を行ってまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の活動報告で褒めポイントを伝えて頂いています。 	毎回のフィードバックの際に保護者様の思いを聴くことを大切にしており、アドバイスをできるようにしております。一人で判断しかねる場合は、職員全員で話し合いを行い、保護者様に返答できるようにしております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	15	9	<ul style="list-style-type: none"> ・開催は知らない。開催されても時間がなく参加出来ない。 ・そのようなイベントは開催されていないので「いいえ」にした。 ・お世話になり始めてから間もないため、把握できておりません。 	父母の会等の開催は行っていません。もし、ご希望があるようでしたら、個別で情報交換の連携のご案内をさせていただきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 無回答1 ・ちょっとした相談も親身に迅速に対応して下さり、大変助かっております。 ・困り事を相談するといつも適切な対応や解答を頂く事ができ心強いです。LINEになり情報伝達の心理的負担が減りました。 ・LINEでのお返事が迅速で脱帽しています。個人的には翌営業日時間のお返事でも全く問題ないと思っております。 	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、保護者の皆様からのご相談をすぐにお伺い出来るように体制を整えてまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、活動後のフィードバックが丁寧で、親も成長や発達の様子など把握できてありがたいです。 ・子どもには楽しく雰囲気、保護者には丁寧な言葉遣いで、プロフェッショナルだと感じております。 	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が活動の中で出来たことや乗り越えたこと、これからの課題などを共有させていただきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	1	8	<ul style="list-style-type: none"> 無回答1 ・インスタグラムで他事業所の様子も含め拝見しております。 	活動内容の紹介は当事業所のインスタグラムにて公開しております。また季節行事につきましては、事前にポスターやお手紙等で周知させていただいております。自己評価につきましては会社のHPにて公開しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	29	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 無回答1 ・写真の取り扱い等、十分注意頂いていると思います。 	個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしております。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	29	0	0	2	無回答1 ・利用期間が短いためまだよく分かっていません。 ・契約時に説明頂きました。	マニュアルに関しましては契約時に一通りご説明させていただいておりますが、情報量が多いため、必要に応じて保護者の皆様に改めて説明させていただいております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	0	0	2	無回答1 ・利用期間が短いためまだよく分かっていません。 ・訓練前からお知らせ頂き、子どもの心の準備ができました。	当事業所では火事と地震の避難訓練を行っております。避難訓練の開催期間につきましては事前にお手紙で周知させていただきます。ご協力よろしくお願い致します。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1	0	0	無回答1 ・とても楽しみにしていて「行く」とはりきっています。 毎週楽しみにしています。 些細なことも認めて声に出して褒めてくれるので、自身がつきました。 ・行き渋ることが減ってきました。 ・毎回楽しんでいます。 ・一生懸命子どもと関わって頂き、とても感謝しております。	嬉しいご意見ありがとうございます。これからも、お子様が楽しい、もっと頑張りたいと思えるプログラムを職員全員で作成してまいります。今後も通所お待ちしております。
	23	事業所の支援に満足しているか	31	0	0	0	無回答1 ・内容はとてもよく、満足している。 ・何よりも楽しみにしています。大大満足です。 ・とても楽しみにしています。 ・支援者の皆様には細やかに対応していただいております。ありがとうございます。 ・先生方がとても素晴らしくとても満足で安心してお願いできています。 ・大満足です。 ・毎回、子どもの行動をすみずみまで把握してくださって、それに沿った対応などとても素晴らしいです。全て懇切丁寧で支援助かってます。ありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。 ・いつも丁寧な言葉でお話頂き、安心感があります。	嬉しいご意見ありがとうございます。これからも、保護者の皆様そしてお子様に楽しく通所していただける事業所を目指し、より一層支援内容の向上に努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い十分なスペースを確保している。 クールの入れ替えの際は一時的に教室にいたる児童が多くなるため、待機場所を設け、安全面に配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	児童発達支援管理者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮をしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、毎日朝礼と終礼を行い、児童の状況を共有し、療育の質の向上に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを1月に実施。また日々の保護者へのフィードバックの際に、保護者から頂いた意見を職員全員で共有し、特に改善が必要なものについては話し合いを行い対応をしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	会社のHPにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修は設けているが、内容に関しては改善すべき点もあるため、検討を重ねている。また、外部研修に参加し、自己研鑽の時間を設けるなどしている。	
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	児発管と指導員全員で、日々の子どもの状況や保護者からの要望等を確認し、個別支援計画の作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	活動プログラムは複数の指導員が担当している。ミーティング時に子ども直近の様子を指導員全員で話し合いながら、個別支援計画に基づき、プログラムを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者の課題や希望に沿った内容を考え、提供している。毎回、反省を重ねより課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	長期休暇期間には季節に沿ったイベントを行うことがある。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	契約時に個別活動と集団活動のどちらが適正かを検討しクラス編成を行っている。また、成長度合いや個々の目標に沿って、クラス変更を児発管、指導員、保護者そして児童にヒヤリングすることもある。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	毎日の朝礼で職員で打ち合わせを行い、共通理解を深め、支援方法や役割分担の確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	毎日の終礼で職員で打ち合わせを行い、支援内容の反省や子どもの今後の課題を話し合い共通理解を深めて、次回の支援に繋げられるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日、児童ごとに一言情報に記録するほか、児童一人一人について、職員全員で状況の確認、課題の確認を話し合い、意見交換を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	半年以内にモニタリングを行い、児発管、指導員、保護者と児童と話し合いを行い、計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	基本的には総則に則って支援を行っている。しかし、総則の基本活動の中の『地域交流の機会』については時間的な制約がある為、行っていない。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		担当者会議はまだ行われていないが、今後必要があれば対応していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	送迎は行っていない。保護者との連絡がメインになっているが、保護者からの要望によって対応することもある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		現在該当児童はいないが、今後受入れる場合は主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	状況によって対応している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	現在までに放課後等デイサービスを卒業し障害福祉サービス事業所等へ移行した児童はいないが、資料を提供できる体制は整っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	セミナーなどに参加し、情報収集を行っている。	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	当事業所から連絡をとり当事業所が行っている支援内容についての紹介を行っている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	現在参加したことはないが、今後協議会の内容や勤務体制により、参加を検討している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回支援終了後に保護者に児童の活動についてのフィードバックを行うとともに、家庭での様子や学校の様子などを伺い、児童の様子や課題などの確認し合っている。また、常時保護者や児童からの意見や要望に応じられる体制を整えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	フィードバックの際に相談に応じてアドバイスをを行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	主に契約時に運営規定や利用者負担額について説明を一通り行っている。支援の内容については契約時の時だけでなく、様々な場面で詳しく説明をしている。また、質問があればすぐに返答できるようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	フィードバックの際に保護者の思いを聴くことを大切にしており、アドバイスを伝えるようにしている。一人で判断しかねる場合は、職員全員で話し合いを行い、保護者に返答できるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会はないが、希望者には個別で情報交換などの連携の案内を行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	契約時に苦情の連絡方法を伝えている。苦情になる前に保護者や児童の様子を察知して事前に対応しているつもりであるが、保護者や児童から苦情があった場合は、職員全員で話し合い、すぐに対応できるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	ポスターや手紙などで行事等の情報を発信している。 会報はないため、今後必要に応じて検討していく。	
	35	個人情報に十分注意している	個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	個々の特性や障害に合った配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在特に行っていないが、今後必要に応じて検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	保護者には契約時に説明をするようにしている。 また、職員は定期的にマニュアルの確認を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年に2回、実施している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	年2回、虐待防止の研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	マニュアルを作成し、方法も組織的に決定している。 保護者には契約時に書面にて説明を行い、了承を得ている。また個別支援計画書にも記載をしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約時に食物アレルギーについて、詳しく保護者に聞き取りを行い、職員全員が確認している。 またイベントなどでお菓子など配る際には保護者への周知並びに説明を徹底している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	記録を残し、職員がいつでも確認できるように専用のファイルにて管理している。また、ヒヤリハット事例があった際には職員全員で話し合い、繰り返さないために対策を話し合っている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	1	1	0	無回答1 ・もう少し広いスペースでもよいかと。 ・立地は仕方ないと思いますが、少し狭いと感じます。特に人数が多いと運動内容が制限されるのが残念。	当事業所は法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い十分なスペースを確保しております。 小集団クールにつきましてはグループ分けや順番の明確化、コーンやテープを使って空間区切るなどしながら、スペースの確保し運動内容に制限がないように、更に接触、怪我の防止に努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	1	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	2	2	4	手すりなどの設備はなかったように思いますが、子どもが安全に活動できるよう工夫された環境だと思います。	引き続き、安全面を考慮し、保護者の皆様がお子様を安心して通わせられる教室環境を整えてまいります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	27	0	0	0	・今後もう少し整合出来るとよい。 ・定期的な面談で、子どもの成長具合や課題を共有し計画に練り込んで頂いています。 ・とても良く見て下さり考えて下さっていることが伝わります。ありがとうございます。個別のニーズもできるだけ対応しようと色々考えて下さるので感謝しております。	今後も面談で保護者様の希望、現場で子供のやりたい事をリサーチし、支援計画を立てて行きます。嬉しいご意見ありがとうございます。 引き続き、保護者の皆様に面談やフィードバックでお話をお伺いし、またお子様からもお話を伺いしながら、個別支援計画の作成を行ってまいります。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	26	0	0	1	・活動プログラムの何を指すかわからない。 ・様々な活動メニューを組み合わせており、工夫されていると感じます。 ・様々なプログラムありがたいです。	・活動プログラムとは日々行う運動療育内容になります。 ・嬉しいご意見ありがとうございます。 これからもお子様が飽きることなく、楽しく運動に取り組んでいけるように支援計画に沿ってプログラムを職員全員で作成してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	9	11	・必要性を感じないため、現状のままで問題ありません。 ・必要ないと思います。	現在、交流の機会を設けてはおりませんが、必要に応じて検討させていただきます。
保護者	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	0	0	0	見学できない時は活動の様子が分からないのでipadの動画などをもっとたくさん見せてほしい。可能であればLINEで動画配信してくれるとありがたいです。	お子様の活動の様子を口頭でのフィードバックだけでなく、動画等で今後を視覚的にお伝え出来るように努めてまいります。 なお、LINE等を活用しての動画配信に関しましては、現段階では予定しておりません。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	2	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	13	7	・今後そのような機会があると良いと思います。 ・必要性を感じないため、現状のままで問題ありません。	父母の会等の開催は行っておりません。 もし、ご希望があるようでしたら、個別で情報交換の連携のご案内をさせていただきます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵小杉教室

への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	0	0	9		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	1	0	6	無回答1	活動内容の紹介は当事業所のインスタグラムにて公開しております。また季節行事につきましては、事前にポスターやお手紙等で周知させていただいております。自己評価につきましては会社のHPにて公開しております。
	14	個人情報に十分注意しているか	23	1	0	3		個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	0	0	1		マニュアルに関しましては契約時に一通りご説明させていただいておりますが、情報量が多いため、必要に応じて保護者の皆様に改めて説明させていただいております。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	0	1	予定されていましたが実施されていません？	実施をした際にフィードバックでお伝え忘れがあったので今後は報告を徹底していきます。また、欠席し参加していない子供がいたら、参加できるよう日にちを増やす事をしていきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	27	0	0	0	・本人が毎週楽しみにしています。 ・いつも汗だくで楽しんでいます。行き渋り減りました。 ・毎週、他の子との交流を心待ちにしております。	嬉しいご意見ありがとうございます。これからも、お子様が楽しい、もっと頑張りたいと思えるプログラムを職員全員で作成してまいります。また、お友達との関わりが楽しめるように環境設定をまいります。今後も通所お待ちしております。
	18	事業所の支援に満足しているか	27	0	0	0	・満足しています。 ・児童から継続して通所することができて大変満足しております。 ・とても頼りにしています。今後ともよろしく願います。	嬉しいご意見ありがとうございます。これからも、保護者の皆様とお子様楽しく通所していただける事業所を目指し、より一層支援内容の向上に努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。